

校訓



「自主」「明朗」「協同」

【学校教育目標】

心豊かで たくましく
志をもって学ぶ生徒の育成



学校ホームページ

<令和5年度 学校スローガン>

思いやりと勇気をもって、気づき、考え、行動する

「和顔愛語」

南島原市立南有馬中学校
学校便り 第4号
令和5年6月7日
文責：校長 山室 立

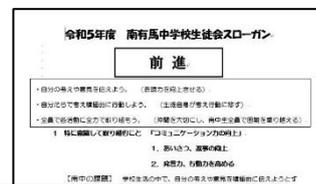
生徒総会 ～「前進」しよう！

5月31日（水）は、生徒総会でした。4月下旬から生徒会役員を中心に、役員会や学級討議を何度も行って生徒総会に向けた準備を進めてきました。

総会当日は、昨年度の活動報告や本年度の活動計画等について真剣に審議しました。学級からの質問や提案もたくさん出され、それをもとに活発な意見交換がなされました。生徒にとっては、多様な意見や考えがあることを実感できた中身の濃い生徒総会だったと思います。

本年度の生徒会スローガンは『前進』です。議案書の生徒会スローガンには、『自分の意見や考えを伝えよう。』『自分たちで考え積極的に行動しよう。』『全員で各活動に全力で取り組もう。』と書かれており、特に意識して取り組むこととして「コミュニケーション力の向上」が挙げられています。生徒総会で決定したことを積極的に行動に移してほしいと思います。

本年度は校則に関する要望も多く出されましたので、保護者の皆様の意見も聞きながら、生徒がより楽しく過ごしやすい学校となるよう改善を図っていきたいと思います。



学校運営協議会、地域学校協働本部 ～ よろしくお願ひします

6月5日（月）、令和5年度第1回学校運営協議会（南有馬地区）が開催されました。学校運営協議会は、学校の運営やその運営に必要な支援に関して協議する組織です。学校と地域住民等との信頼関係を深め、学校運営の改善と児童生徒の健全育成に取り組むために設置されています。

委員の任期が2年間のため、今回の会議では初めに委員22名が新たに委嘱され、会長に宮崎義彰さん（再任）、副会長に西田由里子さんが選出されました。議事では、本年度の南有馬小と南有馬中の学校経営方針について説明し、承認をしていただきました。その後、南有馬地区の目指す子供像「あいさつのできる子ども」、「たくましい子ども」の育成に向けて、力を合わせて取り組んでいくことを確認しました。会議の中で、本年度は「南中生のあいさつが、声が大きく爽やかである」というお褒めの言葉をいただきました。大変誇らしく思いました。生徒・教職員とともに、今後もがんばりたいと思います。

協議会の後、地域学校協働本部「スクラムみなんま」の会議も行われました。地域学校協働本部は、学校運営協議会とともに立ち上げられ、地域と学校が一緒になって地域のつながりや絆を強くする取組を行います。本部長には、川口和典さんが再任されました。昨年度は大変お世話になりました。ありがとうございました。本年度もいろいろな形でお世話になると思います。皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。

南島原市中学校総合体育大会 ～ 健闘を祈る！

市中総体が目前に迫ってきました。グラウンドや体育館は活気にあふれており、生徒たちはそれぞれの目標に向けて最後の練習・調整をがんばっています。

本年度は、6月11日（日）、12日（月）に球技・武道大会、6月20日（火）に陸上競技大会が実施される予定です。

【中総体出場選手心得】

1 感謝 2 マナー 3 勝負

南中の代表として、練習の成果を思う存分発揮し、納得のいく結果を残してほしいと思います。保護者の皆様には、応援やサポートをよろしくお願いいたします。

球技・武道大会の組合せ（本校の予定）

※「△」は勝った場合のみ

競技	会場	11日（日）	12日（月）
バスケットボール（男子）	布津中学校体育館	①試合 対 布津中 △ ③試合 対 加津佐中	△決勝
バレーボール（女子）	西有家中体育館	②試合 対 加津佐中 ③試合 対 深江中	△準決勝・決勝
ソフトテニス（男子）	北有馬ふれあい交流 広場テニスコート	①試合 対 布津中 ②試合 対 北有馬中 ③試合 対 有家中	個人戦
ソフトテニス（女子）	有家総合運動公園 テニスコート	①試合 対 有家中 ②試合 対 加津佐中 ③試合 対 北有馬中	個人戦

教育相談終わる ～ 保護者の皆様へお願い

新年度が始まって2か月が過ぎました。体育大会も無事終わり、順調なスタートを切ることができたと思っています。そうは言っても、生徒たちは一人一人、大きさはそれぞれ違いますが多少の悩みをもって生活しています。体育大会明けの5月16日（火）から26日（金）には、学級担任による教育相談を実施し、現在の悩みを把握するとともに、その解決に向けたアドバイス等を行いました。

今後も、全ての生徒が安心・安全で充実した学校生活を送れるよう、「いじめ防止基本方針」（学校のホームページに掲載）に基づいて指導体制を整えるとともに、「学校生活アンケート」も毎月実施して悩みや困難の把握とその解消に努めていきます。夏休みには三者面談、11月には1・2年生の教育相談と3年生の三者面談を行う予定です。月に2～3回来校するスクールカウンセラーも活用しながら、生徒のカウンセリングや指導・支援の充実を図っていききたいと思います。

中学校の時期の子供たちは、子供から大人になるための過渡期です。この時期の子供の心の成長に欠かせないものは、「自分に自信をもたせること」、「自分自身の大切さに気付かせること」だと思います。保護者の皆様には、我が子の良いところや頑張っていることを見つけて認め、褒めてほしいと思います。他人と比較することがないよう心がけ、結果だけでなく過程も評価してほしいと思います。

また、悩みの原因が家庭生活にある場合もあります。ご家族の誰かが厳し過ぎたり、過干渉で指示し過ぎたりするようなことはないでしょうか。家の中に子供たちの居場所はあるでしょうか。家族が言い争いをしている姿を見ることは、子供たちにとってつらいものです。各ご家庭が子供たちにとって、気兼ねなく自分の悩みや考えを言える場であるとともに、安心して心を休める場であってほしいと願います。